

2018年3月28日

報道各位

ラサール不動産投資顧問株式会社
三菱地所株式会社
三菱UFJリース株式会社

マルチテナント型物流施設「ロジポート大阪大正」竣工 ～大阪都心部に近接する南港エリアに大規模マルチテナント型物流施設～

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 キース藤井、以下「ラサール不動産投資顧問」、三菱地所株式会社(本社:東京都千代田区、執行役社長 吉田 淳一、以下「三菱地所」、三菱UFJリース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 柳井 隆博、以下「三菱UFJリース」)は、3社が共同で開発を進め、2018年3月15日に竣工したマルチテナント型物流施設「ロジポート大阪大正」^{*}の竣工式を、大阪府大阪市の同施設内において執り行いました。

「ロジポート大阪大正」は、敷地面積約 55,500 m²、延床面積約 122,000 m²、地上 4 階建ての大規模マルチテナント型物流施設です。大阪市大正区に立地する当施設は、難波・心斎橋エリアへ 6km 圏、淀屋橋・本町エリアへ 8km 圏、梅田エリアへ 10km 圏と大阪都心部に近接しています。阪神高速 15 号堺線玉出出入口まで約 4km と至近であることから、市内主要部を縦横に走る阪神高速を通じ、名神高速、中国自動車道、山陽自動車道へスムーズにアクセスすることができます。加えて、国道 43 号線で神戸方面、国道 26 号線で南大阪方面につながる主要幹線道路へのアクセスも良好なため、大阪のみならず神戸や京都を含めた関西の巨大マーケットへの輸配送にも高い利便性を発揮します。なお、竣工時点で既に約 55% の契約率となっております。



【外観写真】

また、当施設は人口密集地の至近に位置していることに加え、JR 大阪環状線・大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線の「大正」駅から当施設最寄りバス停まで頻繁にバス運行があるためアクセス性に優れており、従業員の確保が比較的容易な立地となっております。

さらに、市街地にほど近い立地でありながら工業専用地域内に位置しているため、365 日 24 時間のオペレーションが可能であり、多様なテナントニーズにお応えすることが可能です。また、防災面では付加制震構造を採用し、72 時間対応の非常用発電機を設置する等、BCP を考えた災害リスクに配慮した施設計画としています。加えて、全館 LED 照明を採用するほか、屋上に太陽光発電設備を設置する等、環境面にも配慮しています。

各企業による物流効率化の過程で、交通便利性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっています。ラサール不動産投資顧問、三菱地所、三菱UFJリースは今後も多様化する物流需要に応える物流施設開発を進めてまいります。

※ マルチテナント型とは、複数テナントによる分割利用が可能な物流施設。

■ 本件に関する問い合わせ先 ■

ラサール不動産投資顧問(株)/広報担当【(株)エイレックス】/村瀬・本田 電話:03-3560-1289

三菱地所(株) 広報部 電話:03-3287-5200

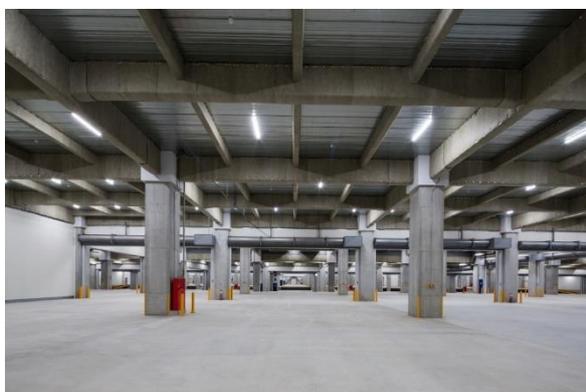
三菱UFJリース(株) コーポレートコミュニケーション部 電話:03-6865-3002

発表当日(3/28)のお問い合わせ先:080-3570-1856(ラサール不動産投資顧問(株)/広報担当 村瀬)

【施設概要】

所在地：大阪府大阪市大正区船町一丁目 2 番 21
敷地面積：55,500.47 m²(16,788.89 坪)
延床面積：121,961.26 m²(36,893.28 坪)
構造：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 地上 4 階建、付加制震構造
設計監理監修：株式会社久米設計
設計施工：株式会社大林組
施主：大正プロパティ-特定目的会社
着工：2017 年 1 月 1 日
竣工：2018 年 3 月 15 日

【内観写真】



【テープカット】



中央がラサール不動産投資顧問株式会社代表取締役 中嶋康雄、中央左が三菱地所株式会社執行役常務 ほそかね 細包憲志、中央右が三菱 UFJ リース株式会社 常務取締役 青木克彦

【周辺地図】



電車・バスでのアクセス:

JR 大阪環状線・大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線「大正」駅より最寄りバス停「東船町」下車、徒歩約 2 分

車でのアクセス:

玉出 IC まで約 4.0km 南港北 IC まで約 8.4km

本プレスリリース掲載画像につきましては、下記の URL よりデータをダウンロードできます。
(ダウンロード期限:2018 年 4 月 28 日)

URL: <http://urx3.nu/JfR4>

ラサール不動産投資顧問株式会社について

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 576 億米ドルです(2017 年 3 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレバブル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、www.lasalle.comをご覧ください。

三菱地所株式会社について

三菱地所株式会社は日本を代表する総合不動産ディベロッパーです。東京・丸の内における街づくりをはじめ、オフィスビル・商業施設・住宅・ホテル等の開発・運営等、数多くのプロジェクトを手掛けています。海外においては、全米各地や英国・ロンドンで不動産賃貸・開発事業を展開するほか、中国・ベトナム・シンガポールなどでマンション・アウトレット開発事業に参画するなど、アジアにも積極的に進出しています。2013 年 4 月には、当時都市開発事業部内に設置していた物流開発室を物流施設事業部として独立させ、物流施設開発事業の一層の強化を図っています。詳しい情報は、<http://www.mec.co.jp/>をご覧ください。

三菱 UFJ リース株式会社について

三菱 UFJ リース株式会社は、リース・ファイナンスを中核に、ノンバンクならではの柔軟性とアセットに対する専門性を発揮し、不動産事業、環境・エネルギー事業、ヘルスケア事業、インフラ事業、グローバルアセット事業などへの投融資等を中心に多彩な事業をグローバルベースで展開しています。

「Value Integrator」をコーポレートメッセージとして掲げ、お客さまの高度化・多様化するニーズに最適なソリューションを提供することで、お客さまの企業価値向上に貢献していきます。詳しい情報は、<http://www.lf.mufg.jp> をご覧ください。